
**多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」第156号(2025.12.26)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室**



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第156号をお届けします。

--第156号の目次--

1 活動組織の活動紹介

☆まっかりニコニコクラブ広域協定 (北海道真狩村)☆

活動組織を広域化することによって、より効率的な活動が実現しています！ また、景観形成活動の一環としての「フラワーロード」は、村の観光資源にもなっています！

☆瀬々串地域農地保全連絡会 (鹿児島県鹿児島市)☆

地域のコミュニティ協議会と連携を取り、校区内の地域住民と草刈り作業を実施しています！ また、伝統的な踊りを小学生と一緒に披露し、地域のコミュニティを強化しています！

2 女性役員へのインタビュー

☆北山形資源保全会 (福島県石川郡石川町)☆

女性役員が中心となり植栽活動を行うことで、地域の交流を深めています！ 今後は農道の舗装工事に取り組むことで、地域の道路をきれいにしていくことを目指しています！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆笹間地区環境を守る会 (岩手県花巻市)☆

積極的に直営施工に取り組んでいることを広報誌でPRしています！ さらに、活動への理解を深めてもらうために、SDGsと多面的機能支払交付金の関わりを紹介しています！

【編集後記】

■1 活動組織の活動紹介(1) ~まっかりニコニコクラブ広域協定(北海道真狩村)~ ■

～地区概要～

北海道の後志管内、蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山の南麓にある真狩村を拠点に、豊かな自然に囲まれながら活動しています。

活動範囲は、田 11.7ha、畑 2595.3ha、草地 214.2ha、農道 89.9km となっています。

～主な取組～

◎ 本組織は、平成 19 年から村内 10 地区で取組を開始し、令和元年に村内全地区を 1 組織に広域化して活動しています。

また、広域化に伴い、民間会社に事務を委託しており、事務の負担が軽減しただけでなく、役員の削減や、広域的な活動の実施につながっています。広域化したことでの、より効率的に活動することができています。

◎ 農地維持支払の活動では、農道・法面・畦畔の草刈りや側溝の泥上げ、農道補修等に取り組み、資源向上支払の活動では、生態系保全や景観形成、農村環境保全活動等に取り組んでいます。

◎ 景観形成活動の一環として、村の特産である花ユリを植栽している「フラワーロード」は、景観を向上させているだけでなく、村の観光資源となっており、村外から多くの観光客が訪れています。

◎ 他にも、小学校と連携して田植えや稻刈りを行い、食育活動に取り組む等、農業者以外との活動も積極的に実施しています。

◎ 今後は、現在取り組んでいる活動に併せて、地域の担い手確保や活動の維持継続、女性役員をはじめとした多様な人材のより積極的な参画に向けて、地域一丸となって農業・農村を守っていきたいです。



羊蹄山



植栽活動の様子



フラワーロード



小学生との田植えの様子

【北海道農政部農村振興局農村設計課】

編集担当 SDGs コメント

農道等の草刈りや側溝の泥上げを行うことは、目標 2 「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、活動に女性や地域の子供たちが参画していることは、農村コミュニティの維持・強化につながり、目標 11 「住み続けられる地域をつくる。」や目標 16 「多様な主体の参画による地域づくりを促進する。」に貢献しています。

これからも、本交付金を有効に活用いただき、ますます活動が活性化されるよう応援しています！



■1 活動組織の活動紹介(2) ~瀬々串地域農地保全連絡会(鹿児島県鹿児島市)~ ■

～地区概要～

- ◎ 本地区は、鹿児島市の南に位置しており、錦江湾沿いに南北 16km、東西 6.2km と細長い地形をしている喜入町にあります。総面積の約 80%を高地が占め、さらに火山地帯特有のシラス土壌となっています。
- ◎ 本組織は、令和 2 年度から活動を始め現在 2 期目に入っています。活動範囲は、田 70a、畑 5,670a となっています。

～主な取組～

- ◎ 農地維持活動として、瀬々串コミュニティ協議会とも連携をとり、校区内 5 集落の皆さんで農道約 2km の草刈り作業を年に 2 回実施しています。また、本組織の会長がコミュニティ協議会（自治会）の構成員を通じて、地域の人への活動の認知と地域活性化を図れるように広報活動を行っています。活動は誰でも参加可能とし、地域の人も草刈りの活動に徐々に協力的になっています。

また、構成員の中に造園業をしている方がおり、草刈りをした後方からダンプで草を収集し作業の効率化を図っています。

- ◎ 豊作を祈願する踊りとして明治初期から続くといわれる「棒踊り」を、瀬々串小学校の 5、6 年生と一緒に披露しました。踊りの練習会では、本組織の構成員が小学生に踊りを教えることで、地域の世代間の交流が深まり、本地域の文化が伝承されるとともに、地域コミュニティの維持・強化につながりました。水質調査と生きもの調査では、子供と保護者が合わせて 50 人ほど参加し、子供たちは興味深そうに川で捕



瀬々串地域農地保全連絡会
集合写真



農道の草刈り・収集の様子



棒踊り披露

獲した魚やエビを観察していました。

- ◎ 本地区は、田んぼの割合が少なく、「そば」などの雑穀を栽培しており、秋にはそばを収穫した豊年祭をコミュニティ協議会で行っています。この豊年祭で使う「そば」は、地区の良好な景観を維持するため、本組織が遊休農地に地域共同で植え付けや刈り取りを行って栽培したものを利用しています。昨年同様、豊年祭当日は150名ほど集まり、鰯節でとった味噌仕立ての出汁を用いた瀬々串伝承の「豊祭そば」がふるまわれ、参加者全員でおいしくいただきました。
- ◎ 今後も、コミュニティ協議会と連携し地域に根ざす活動を子供から大人まで地域一帯となり活動に取り組んでいきたいと考えています。

【鹿児島県水土里サークル協議会】



生きもの調査の様子



そばの花

編集担当 SDGs コメント

草刈りにより地域資源の適切な保全管理に取り組んでおり、目標2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。

また、豊年祭や生きもの調査など地域住民との交流活動の実施は目標12「持続可能な生産・消費を進める。」に、子供たちと棒踊りを行うことによる農村文化の伝承は目標11「住み続けられる地域をつくる。」に貢献しています。

これからも共同作業や交流活動を通じて、伝統的な農村文化が次世代にも受け継がれるよう応援しています。



■2 女性役員へのインタビュー ~北山形資源保全会(福島県石川郡石川町)~■

組織の概要

北山形地区は、石川町の南部に位置し、阿武隈高地西部の内陸側の中山間地で年間を通して降雨量が少ない中で、天水を利用した稻作が行われてきました。

古くから地区住民が一体となって環境の維持・整備を行い、緑豊かな景観を守っています。

活動範囲：田 13.16ha

対象施設：水路 2.6km 農道 3.9km

活動開始時期：令和3年度

～ インタビュー ～

○話し手 渡辺 優子さん（庶務担当）

添田 ゆき子さん（会計担当）

○聞き手 福島県農林水産部農村振興課 小池

○実施日時：令和7年10月15日

○場所：渡辺さんの自宅

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：（渡辺さん）夫からパソコン操作ができる人を探していると聞き、パソコン操作が少しほどけてるので、地域に少しでもお役に立てればと思ったことがきっかけです。

また、夫から女性一人より、もう一人いて一緒にやった方がいいのではとの提案があり、添田さんに加わってもらいました。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありませんでしたか？

A：（渡辺さん、添田さん）特にありませんでした。

（渡辺さん）隣の地区で知り合いの方が活動組織の事務をしており、教えてもらえる環境だったので何とかなるんじゃないかと思い、引き受けました。



渡辺さん（左）と添田さん（右）



草刈り後の集合写真

Q：組織を運営する中で苦労したこと教えてください。

A：(渡辺さん) 元々仕事でパソコン操作をしていたので抵抗はなかったのですが、多面的機能支払交付金の事務書類を作成するソフトが上手く扱えず悩みました。分からぬ所は、隣の地区の活動組織で同じく事務をしている方に教えてもらしながら進めています。

Q：役員として心がけている事を教えてください。

A：(添田さん) 人とのつながりを特に大事にしており、活動後には必ず交流会を行っています。

(渡辺さん) これまで水路のひび割れなどは気にしたことがなかったのですが、活動に取り組み、役員となって保全会の方たちから「あそこの水路がひび割れている」など情報が入るようになり、保全会のエリアにある施設を気にしてみるようになりました。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：(渡辺さん、添田さん) これまでの花植え活動は継続し、令和7年度から新たに長寿命化で舗装工事を行う予定でいます。花植え活動と併せて当保全会エリアの道をきれいにしたいと思っています。



みんなで花を植えています！

Q：活動を行って良かったことを教えてください。

A：(添田さん) これまで、地域の取組として草刈りなどの奉仕活動は行っていました。多面的機能支払交付金の活動としての取組を始めてからは、日当が出るようになり、各家を日当支払等で受領確認に回っていると「活動を頑張って良かった」などの声があり、嬉しかったです。また、地域一体となって活動に取り組むことで地域の交流がより一層深まりました。

(渡辺さん) 令和3年度に活動を始めてから、その中で新たに地域の会が2つ設立し、それれ花植えの活動を行いながら交流を深めています。みんなで集まって一緒に活動することを楽しく感じています。

(添田さん) 自分たちで花を植えて、花を観賞し、花の成長が地域の話題になっています。



役員会の様子

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：(添田さん) 難しい問題もありますが、近い展望・目標としては、今、力を入れている花植え活動で花壇数や花の種類を増やしていきたいと考えています。今日もインタビュー前に今後の花植え計画を話していたところです。

(渡辺さん) 来年は、当保全会の活動が2期目となり、役員を継続していく予定ですが、当保全会も私たちの次を担ってくれる後継者がいないため、3期目以降の活動をどうするか今後の大変な課題となっています。

【福島県農林水産部農村振興課 小池】

編集担当 SDGs コメント 

活動組織の役員に女性の方が参加することは、目標5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる。」に貢献しています。また、花植え活動をきっかけに地域住民が集まり、交流が深められていることは、目標11「住み続けられる地域をつくる。」に貢献しています。

これからも、本交付金を有効活用していただき、北山形地区の農業農村が活性化していくよう応援しています！



■3 活動組織の活動の啓発・普及紹介 ～ささき 笹間地区環境を守る会(岩手県花巻市)～はなまきし■

広報誌の概要

- ・ 本活動組織は7つの集落から構成された広域活動組織です。集落毎に活動を実施しているため、各集落の活動内容を広報誌により紹介しています。
- ・ 広報誌は、地域住民の方々への活動の普及・啓発のために、活動参加の有無を問わず、笹間地区内7集落の全戸に配布しています。

～工夫しているポイント～

ポイント1 作成作業の分担

各集落の活動内容を紹介するために、各集落1名の計7名が広報誌の作成に携わっており、作業を分担することで、担当者の負担を減らしています。

ポイント2 写真中心の誌面

写真を中心とした誌面にすることで、実際の活動の様子を分かりやすく伝えることを心がけています。特に、長寿命化については、構成員の皆様の協力の下、積極的に直営施工に取り組んでいることをPRしています。

ポイント3 活動への理解を深める

活動への理解を深めてもらうために、SDGsと多面的機能支払交付金の関わりを紹介しています。今後も活動の継続により、SDGsの達成に向けて貢献していきたいと思います。

ポイント1 作成作業の分担

各集落の活動内容を紹介するために、各集落1名の計7名が広報誌の作成に携わっており、作業を分担することで、担当者の負担を減らしています。

令和7年2月 発行 発行者：笠間地区環境を守る会 会長 寺林芳夫

広報 笠間地区環境を守る会

農林水産省では「高めよう地域協働の力！」をキャッチフレーズに定め、多面的機能支払制度を推進しています。

令和5年度の活動報告

北笠間 活動内容：水路の泥上げ・草刈、農道の草刈・補修、耕作放棄地の草刈、花植など

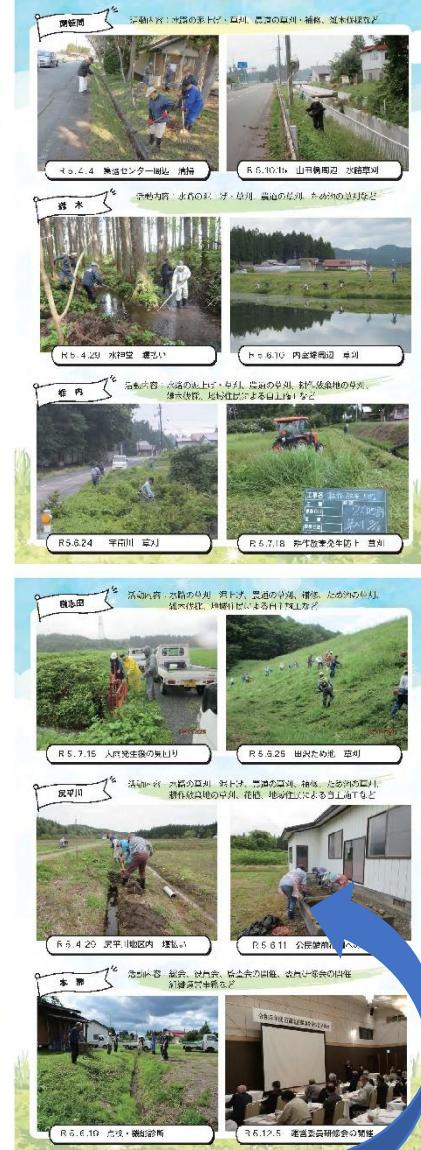
R 5.6.3 保育園周辺での植栽

R 5.6.18 宇南川周辺 草刈

中笠間 活動内容：水路の泥上げ・草刈、農道の草刈・補修、花植など

R 5.4.23 西野開三 垂払い

R 5.9.16 宇南川周辺 草刈



ポイント2 写真中心の誌面

写真を中心とした誌面にすることで、実際の活動の様子を分かりやすく伝えることを心がけています。



交付金による活動で、業者施工による水路工事だけではなく、地元施工による水路工事も実施しています。



ポイント2 写真中心の誌面

特に、長寿命化については、構成員の皆様の協力の下、積極的に直営施工に取り組んでいることをPRしています。

多面的機能支払交付金 × SDGs(持続可能な開発目標)

持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）は、持続可能な世界を目指す国際目標です。多面的機能支払交付金は、地域の共同活動によって農用地、水路、農道等の保全管理に資する取組が地域住民による共同活動により行われ、地域社会の維持に重要な役割を果たすものです。

このことからSDGsと本交付金の活動目標は、持続可能な社会を目指す点において共通しており、親和性が高く、全17目標のうち15目標について貢献しています。



SDGsは縁遠いものではなく、今までの地域活動を継続していくことで国際目標を達成するための貢献をしています。

ポイント3 活動への理解を深める

活動への理解を深めてもらうために、SDGsと多面的機能支払交付金の関わりを紹介しています。今後も活動の継続により、SDGsの達成に向けて貢献していきたいと思います。

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは！いかがお過ごでしょうか。

本記事でもご紹介させていただきましたが、多面的機能支払交付金が支援している活動の1つに、「農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化」があります。私も先日、ある地域の伝統行事であるお祭りに参加しました。大変見ごたえのある、素晴らしいお祭りだったのですが、お祭りの主役である、子供の演者を集めるために相当な苦労があったようです。人口減少という避けられない状況の中、本交付金によって地域コミュニティが維持・強化されることで、農村文化の伝承に繋がっていくことを期待しております。

インフルエンザ等が流行る時期ですので、引き続きどうぞ体調にお気をつけてお過ごしください。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozon/index.html



バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：大澤、土田）

TEL : 03-3502-8111 (内線 85640)
